

宮西高校同窓会報

発行 愛知県立一宮西高等学校同窓会

将来への飛躍に向け同窓生の結集を

同窓会副会長 傍島章介



同窓生の皆さま方にはご健勝にて、それぞれの分野において責任ある立場にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

わたくしは、本同窓会役員諸氏のご推挙により、本同窓会副会長に再任されました。同窓生としての誇りと責務をもつ

て、役員諸氏と力を合わせ、会務の遂行に邁進しますので同窓生諸賢のご指導とご支援をお願い申し上げます。

当西高も創立以来二十有余年の間に多数の卒業生を送り出して、その同窓生の社会における活躍は各界から高い評価を得ており、このことは大いに誇れるものと確信しています。しかし技術革新等に

より世界経済は変革の波に洗われ、その中で特にわが国は重要な地位を占めると共に、国際収支の不均衡の縮小、国際的協調のための経済構造の調整等が急務とされています。円高の影響等により鉱業製鉄業、造船業等は、合理化、閉山、設備の統廃合あるいは生産規模の縮小等厳しい対応を迫られ、ハイテク化、情報化ソフト化が進展しています。このような厳しい社会情勢の当今こそ、当西高の卒業生の集まりである同窓会という組織を通して友情を深め対応していかねばならない時と思えます。こうした意味で、一年に一度の同窓会を通しお互いのコミュニケーションを計るということは大変意義深いものがあると痛感いたします。

本同窓会の将来さらに一層の飛躍に向けて同窓生の皆さま方の多様なニーズや時代の変化に対応した将来方向を見定め、着実な活動を遂行するためには、同窓生のタテとヨコの相互コミュニケーション

させたい。にもかかわらず、本校の生徒たちは、昨年の名大合格者44名を大巾に上回る70名が合格するなど、予想以上の活躍を果たした。これも、今年の卒業生たちが、毎日努力した結果であるが、これを支えていただいたご父兄、さらには永い間ご支援をいただいた同窓の皆様方のおかげであると心から感謝する次第である。

すばらしかった今年の卒業生

名大合格七〇名

校長 鶴田功



今年度も大過なく運営されており、先生も生徒諸君も、毎日生き生きとして学校生活を送っております。

その点で母校の近況を簡単に報告させていただきます。従来にもまして一宮西高校へのご支援とご鞭撻をお願いいたします。

◎複数受験でむつかしくなったにもかかわらず、予想以上に活躍した今年の卒業生。

今年度の大学入試は、国公立の大学を二つ受験できる制度になった最初の年にあたり、どの大学も非常に難しかった。そのために、県内の大部分の高校は名古屋大学などの合格者を軒並、減少

◎今年から昼間定時制がなくなり、全日制が二クラス増員になり一学年十クラスの学校になった。

すでにご承知のように、本校の昼間定時制は四年前から募集を停止しており、今年の三月、最後の卒業生四〇名を送り出し、幕を閉じました。昭和四〇年に併設されてから二十二年、その間に千四百十二名の卒業生を送り出し、この地域の産業界のニーズに添えてきました。

◎今年と来年の二年計画で学校の建物が整備されます。定時制の施設が空いたことにもない、本校の施設、設備を有効に利用するため、二年計画をたてて、改装がなされる予定である。図書室、多目的教室、会議室など多くの新しいものができこの面でも他校にひけを取らない学校になることを期待しております。

総会のお知らせ

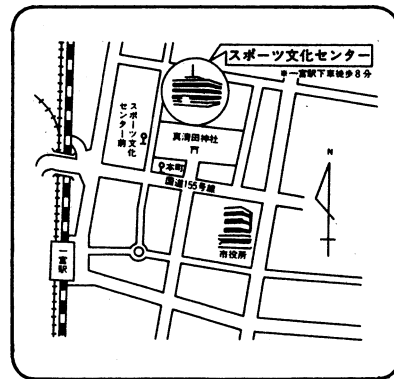
同窓会総会を左記の要領で実施いたします。多数の御出席を心待ちにいたしております。

日時 八月九日(日) 午前十一時

終了後、立食パーティ(会費二千円写真代込み)を準備しております。

場所 一宮スポーツ文化センター

※ なお準備の都合上、出欠席の葉書を七月末日迄にお出し下さるようお願いいたします。



※ 昨年の総会の出席者の御名前を三面に掲載させていただきました。お誘い合せの上、気楽にお寄り下さい。

と連帯を深め、組織の強化をはかることと思えます。また来年度には二十五周年の同窓会員名簿の発刊が予定されております。住所

不明の方々が多数みえますので、その方々の住所等ご存知の方は同窓会事務局までご連絡いただきたくお願いいたします。